

全4回 @ 公民館3階 講座室

ともに14:00～16:00

定員：会場受講 15名、オンライン受講 10名

*いずれも申込先着順、4回連続で参加できる方優先

申込：11月13日(金)朝9時～26日(木)夕5時

・会場受講の申込は 公民館 ☎ 042 (572) 5141

・オンライン受講申込は

sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

(当日の参加方法は追ってメール連絡いたします)

人の 写真家との

対話 — 光の波紋が残すもの —

◆第1回：11月28日(土) 川崎 祐 「写真家を書くこと」

◆第2回：12月20日(日) 藤岡 亜弥 「写真の力」

◆第3回：1月17日(日)

仲宗根 香織 「写真と時間をめぐる幾つかのこと」

◆第4回：2月20日(土)

根間 智子 「写真と絵画の間に - 接近、露呈、腐食」

モデレーター／瀬川拓磨、松澤優、井上絵美子、松田潤

(一橋大学大学院 言語社会研究科 在学生・修了生)

ナビゲーター／井上間従文 (同准教授)

写真は時に社会や個人の記録であり、また時に写真家個人の作品でありながらも、実はそのいずれにも抵抗を示す独特で奇妙な媒体として発展してきました。

世界の軌跡を光の波としてその表面にたたえる写真は、写真家たちにとって力を秘め、時間を切り開き、また文学や絵画との共振を可能にするメディウムでもあります。

この講座では、気鋭の写真家および写真で制作を行う美術家をおまねきし、一橋大学言語社会研究科の大学院生を交えて対話を行います。写真家本人の写真や作品も公開しながら、実作者たちの思考を大学院生とともに掘り下げていきます。受講者の皆さんとの対話時間もたっぷり設けた、双方向型の講座です。

なお今回の一橋連携講座は、昨年度の春に5回連続で企画しながら、このたびの思わぬ災厄によって途中で頓挫した連携講座「写真をめぐって」のリベンジ版！ 今度こそ、どうぞ最後までお楽しみください。